



## LCI Limited

2-1-1, Ishikawacho, Ota-ku, Tokyo 145-0061, Japan

Telephone: (03)5754-0805 Fax: (03)5754-0807

2005年10月14日  
エルシーアイ株式会社  
広報

Press-Information  
REF-LPR10/05

### ロータス・エキシージ・カップが2タイプで新登場

### ロードでもサーキットでも、そのまま走行可能なレーシングカー

ロータス・カーズ Ltd.傘下のロータス・スポーツは、ロータス・エキシージ2006年モデルのハイパフォーマンスバージョンとして、レース走行も可能なロータス・エキシージ・カップ190とロータス・エキシージ・カップ240の2タイプを開発しました。

最新2006年モデルのエキシージをベースに開発されたロータス・エキシージ・カップは、アジャスタブルサスペンションをはじめ、改良型ブレーキ、LSD(リミテッドスリップデフ)、切り替え可能なトラクションコントロール、T45スチールロールバー、フューエルノイグニッション用キルスイッチ、さらには自動消火システムを完全装備し、そのままサーキットで走らせることのできるスポーツクーペです。FIA公認の6点式ロールケージを装着することもできます。

ロータス・エキシージ・カップでは、名前に付けられた190と240という数字が示す通り、2種類のエンジンが用意されています。ロータス・エキシージ・カップ190には2ZZ-GE 1.8リッター4気筒VVTL-i(Variable Valve Timing with Lift - intelligent 連続可変バルブタイミング機構)エンジン{最高出力141Kw/7800rpm(192PS)、最大トルク181Nm/6800rpm(18.5kgm)}が、またロータス・エキシージ・カップ240にはスーパーチャージャーとインタークーラーを備えた1.8リッター4気筒の高速エンジン{最高出力181Kw/8000rpm(247PS)、最大トルク236Nm/7000rpm(24.1kgm)}が搭載されています。

いずれのエンジンも驚異的なパフォーマンスを実現しており、ロータス・エキシージ・カップ190は0~100km/h加速を5.2秒、0~160km/h加速を13.2秒で駆け抜け、最高速度は237 km/hに達します。ロータス・エキシージ・カップ240は、190より1秒も速い約4秒で100 km/hに到達し、0~160 km/h加速は9.9秒、最高速度は249 km/hという驚きの数値をマークしています。

ロータス・エキシージ・カップ 190 とロータス・エキシージ・カップ 240 は、両タイプともロータス・スポーツの工場公式コンバージョンカーとして、英国ノーフォーク州ヘセルのグループ・ロータス本社工場で製造されます。

#### **車両スペック詳細:**

ロータス・エキシージ・カップ190とロータス・エキシージ・カップ240では、エンジン性能以外の仕様はすべて両タイプ共通となっています。

#### **エンジン**

ロータス・エキシージ・カップ190には、VVTL-i(連続可変バルブタイミング機構)搭載の2ZZ-GEエンジン(最高出力192PS、1.8リッター)を採用。この高速エンジンは、最大回転数8500rpmに制御されており、走行状況によって回転数5800rpmから6200rpmの間で高速カムと低速カムの切り替えを行います。

スーパーチャージャーとインタークーラーを搭載したロータス・エキシージ・カップ240のエンジンは、最高出力181 Kw / 8000rpm (247PS)、最大トルク236Nm / 7000rpm、(24.1kgm)を実現。出力とトルクがこれほどにまで高められたことにより、低速カムと高速カムとの切り替えが4000rpm付近で行われ、4000rpmから最大回転数8300rpmまでのスムーズかつリニアなトルク発生が可能になっています。イトン社製M62ルーツ式スーパーチャージャー(完全密封構造のためエンジンオイル不要)はクランクシャフトから駆動され、部分負荷運転用の一体型バイパスバルブを備えています。スーパーチャージャーにより加圧されたエアの冷却には、ロータス・スポーツ製の空冷式インタークーラー(冷却エアをルーフスクープ経由で供給)を使用。すべてのエアダクトが、パイプ直径を大きくすることによって可能な限り短く保たれており、過度の湾曲を避けることでスロットルのレスポンスと効率性を確保しています。また、高性能インジェクター4基を備え、急加速や高速走行時にも十分な燃料供給を可能にしています。

エンジンからの出力は、スポーツタイプのクラッチプレートおよび強化クラッチカバーによって、エリーゼ111Rおよびエキシージの標準ギヤ比と同じ完璧なギヤ比に調節された軽量C64 6速ギアボックス(アルミケース製)に伝えられます。

トルセン式リミテッドスリップデフが標準装備されており、切り替え可能なトラクションコントロールシステム(TCS)と連動しています。ロータスのTCSは、燃料噴射量などを制御し、エンジン出力を下げてトラクションをコントロールする方式のもので、8 km/hから起動し、他の車に多く見られるような駆動輪にブレーキをかけるシステムと比べ、レスポンス性に優れています。

また、油圧「Accusump(アキュムレーター)」バックアップ用オイルリザーバがパッケージングされており、過酷なレース走行においてもエンジンの油圧が一定に保たれます。

## ブレーキ

Yタイプ8本スポーク軽量鋳造アロイ製ホイールには、ロータス仕様のヨコハマ アドバンA048タイヤ(“LTS”のロゴ付き、Wグレード)を装着。グリップ力を最大化し、ロータスが目指してきたライド&ハンドリング性能を実現しています。

ブレーキ系統では、クロドリルド ベンチレーテッド ディスクと改良型スポーツブレーキパッドがブレーキキャリパーに取り付けられており(フロント:APレーシング、リア:ブレンボ)、ハイグレード シリコンブレーキフルード、ステンレススチール製ブレーキホースを使用しています。これら全てをレーシングチューンされたロータスのサーボアシスト付き4チャンネルABSシステムつなげることで、ドライバーによるコントロールを可能にしながらも、高いブレーキ性能を引き出し、制動距離を可能な限り短くすることに成功しています。

## サスペンション

サスペンションは、オーリンズ製スプリングと2ウェイ アジャスタブルダンパー(縮み側22段階/伸び側60段階の設定、高さ調節が可能)、調整可能なフロントアンチロールバー(5段階設定)が採用されています。

ロータス・エキシージ・カップはそのままレース走行が可能なモデルとして提供されているため、レースや走行会でのドライビング時に縁石による衝撃を受けることを想定し、トラック・スペック・リアシャシーブレースを装備しています。

ロータス・エキシージ・カップには、レースカーに求められるあらゆる安全装置が装備されています。4点式シートベルトハーネス(レース用のみ)をはじめ、ProBaxのテクノロジーを採用したスエード風素材のスポーツシート2座、T45スチールロールバーとAフレーム(ハーネスマウント付き)、イグニッション用キルスイッチ(コックピット内および外部から動作可能)を装備しています。

無料オプションとしてFIA公認の6点式ロールケージも提供されており、そのままの状態ですぐにレースに参加することができます。

インテリアには、アルミ製ウインドウウィンダー、アクリルコーティング ドアパネル、レザー(カーボンスタイルプリント)ドアインサートといった、軽量でシンプルなレースカーにふさわしい素材が採用されています。

二分岐型エグゾーストパイプの付いた特製のスポーツエグゾーストシステムは、車両後部からアナライズド加工の3ピース構造リアディフューザの中心を通って突き出しています。ロータス・エキシージ・カップにはその他にも、フロントドライビングライト、ツインオイルクーラー、エアコンディショナーといった装備がパッケージングされています。

ロータス・エキシージ・カップ190はメーカー希望販売価格7,500,000円、ロータス・エキシージ・カップ240はメーカー希望販売価格9,200,000円で販売予定です。

本件のお問い合わせ先:エルシーアイ株式会社 広報  
〒145-0061 東京都大田区石川町2-1-1 Tel:03-5754-0805 Fax:03-5754-0807  
E-mail: [matsuo@lotus-cars.jp](mailto:matsuo@lotus-cars.jp)

お客様お問い合わせ:[info@lotus-cars.jp](mailto:info@lotus-cars.jp)  
URL:[www.lotus-cars.jp](http://www.lotus-cars.jp)